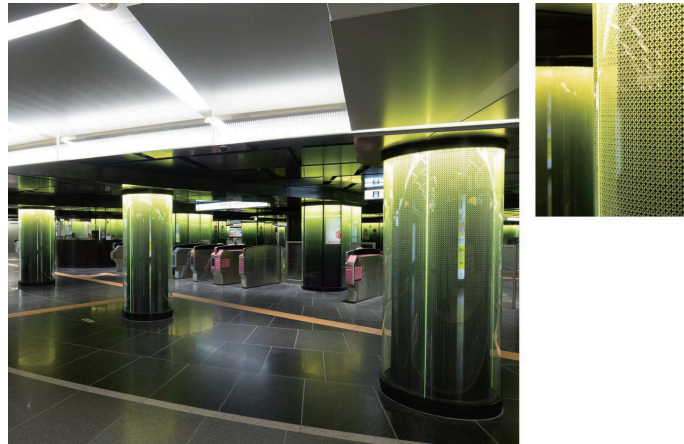


## 東京メトロ 銀座線

銀座エリア  
銀座駅 出入口

「伝統×先端の融合」を路線コンセプトにリニューアル工事が推進されている銀座線。出入口も建て替えを実施。門型の意匠と路線ごとの光のデザインにより、駅とまちをつなぐゲートを表現した。

銀座エリア  
銀座駅 改札口

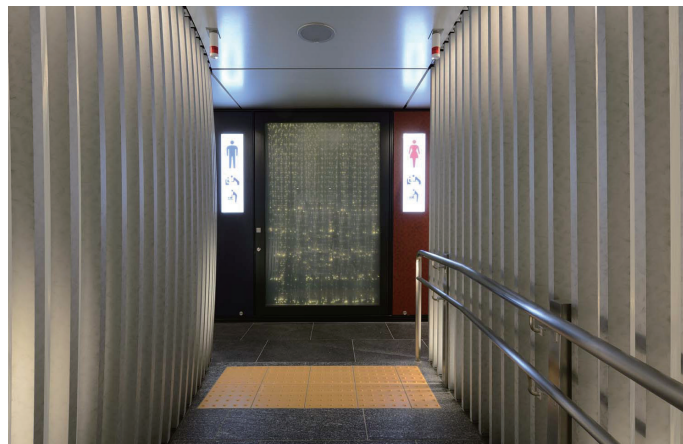
路線カラーにあわせたライトアップで、複雑な構内において路線位置を把握しやすくしている光柱。銀座線は「G」、丸ノ内線は「M」といったパターンデザインが施される。

銀座エリア  
銀座駅 改札口

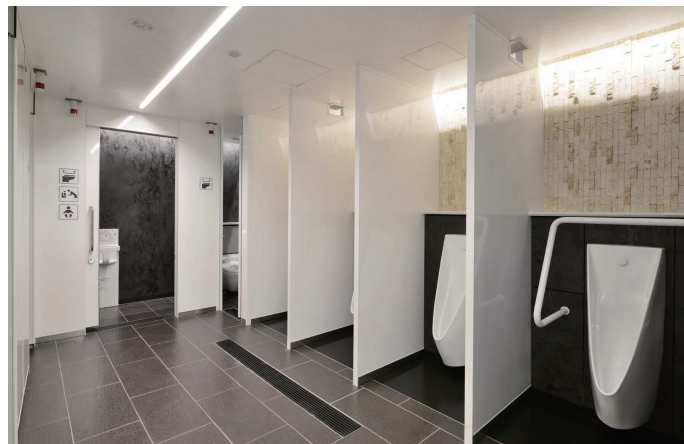
改札口の天井や出入口には、利用者が、地下空間でも街の方向関係をつかめるよう地上の景色を描いた「オリエンテーションサイン」を設置。

銀座エリア  
銀座駅 ホーム

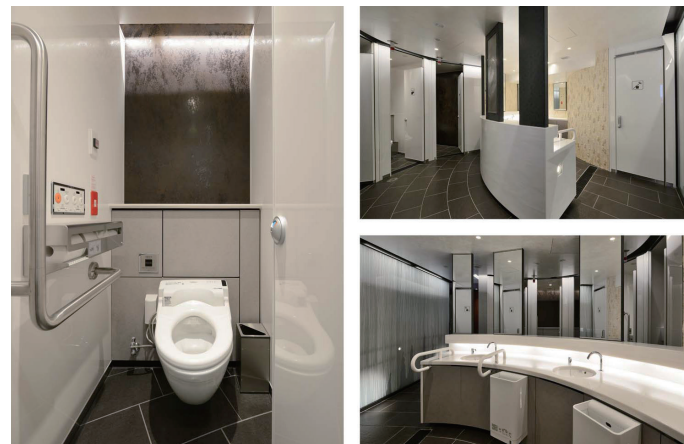
銀座駅のデザインコンセプトは「憧れの街」。ホームの側壁には、アルミパネルの削り出しによって描かれた壁画。開通から現代までの銀座の街並みの変遷を表現している。

銀座エリア  
銀座駅 トイレ①入口

トイレ入口の突き当りには、アイキャッチとなる光壁を設け、視認しやすく、入りやすい入口となっている。

銀座エリア  
銀座駅 トイレ①  
男性トイレ

白を基調とした洗練された内装デザイン。プライバシーに配慮し、小便器の間に間仕切りを天井まで設けている。

銀座エリア  
銀座駅 トイレ①  
女性トイレ

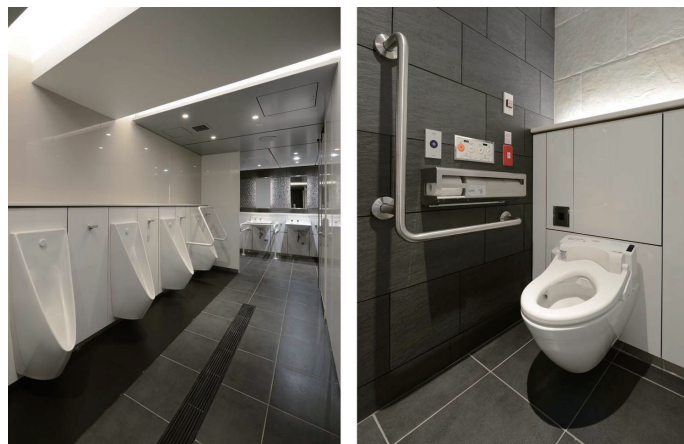
女性トイレは、R壁と光壁が空間のアクセント。洗面上の鏡は間をとり、空間が見渡せるようになっている。大便器は、床の清掃性が高く、連続洗浄可能な壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式を設置している。

銀座エリア  
銀座駅 トイレ①  
多機能トイレ

トイレ空間全体と空間意匠をあわせた、多機能トイレ。車いす使用者やお子様連れ、オストメイトなど、さまざまな利用者に対応できる設備を完備した、コンパクト多機能トイレパックを採用している。

銀座エリア  
銀座駅 トイレ②入口

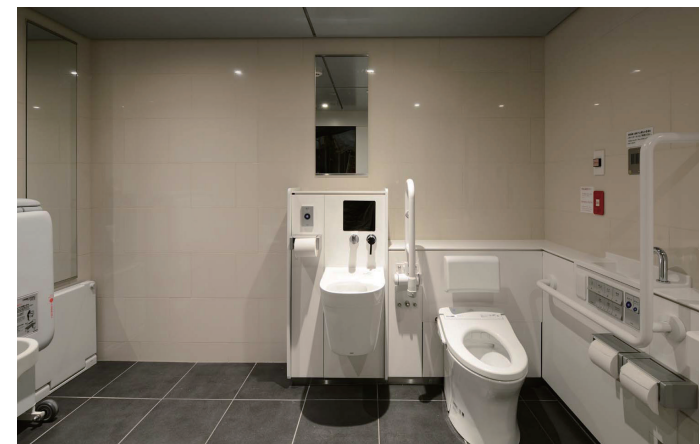
大きなイラストと色分けにより、男女トイレと多機能トイレがひと目でわかるようにしている。男性トイレはダーク系、女性トイレはホワイト系のタイルが空間のアクセントとなっている。

銀座エリア  
銀座駅 トイレ②  
男性トイレ

小便器は、シンプルなデザインで清掃性にも優れた、マイクロ波センサー壁掛小便器セットを採用。すべての大便器ブースには、手すりとスベアが3個セットできる紙巻器、ベビーチェアを設置している。

銀座エリア  
銀座駅 トイレ②  
女性トイレ

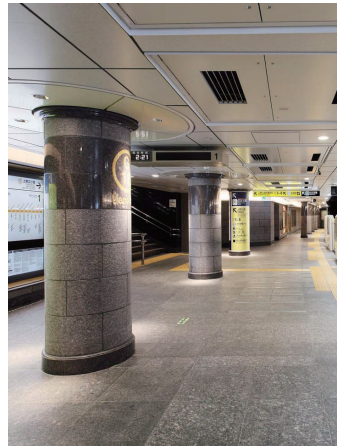
モザイクタイルがアクセントの洗練された空間。洗面コーナーの鏡は、隣人の映り込みに配慮し個別鏡を採用。さらに、独立したスタイリングコーナーを設けることで、洗面空間の混雑を緩和している。

銀座エリア  
銀座駅 トイレ②  
多機能トイレ

トイレ①と同様に、車いす使用者やお子様連れ、オストメイトなど、さまざまな利用者に対応できる設備を完備した、コンパクト多機能トイレパックを採用している。



## 東京メトロ 銀座線

下町エリア  
上野駅

上野駅のデザインコンセプトは「美術館のある街」。駅自体をミュージアムと見立て、展示スペースや重厚感のある列柱を設置。改札口には開業当初の回転改札のレプリカが展示されるなどレトロな雰囲気を演出。

下町エリア  
上野駅 男性トイレ

駅デザインにあわせ、クラシカルな内装。洗面は角形のベッセル式洗面器に、機能部をスパウト内部に搭載したオールインワンタイプの自動水栓と自動水石けん供給栓「オートソープディスペンサー」を設置している。

下町エリア  
上野駅 女性トイレ

洗面、スタイリングコーナーともに、額縁のような枠ありの個別鏡を設置し、美術館を想起させるようなデザインとなっている。

下町エリア  
上野駅 多機能トイレ

美術館建築を彷彿させるような大理石をあしらった重厚感のある内装。ほかの駅同様、車いす使用者やお子様連れ、オストメイトなど、さまざまな利用者に対応できる設備を完備している。

商業エリア  
日本橋駅 ホーム

日本橋駅のデザインコンセプトは「橋の街」。江戸時代に建造され、姿を変えながら今でも街のシンボルとして存在感を放っている日本橋のデザインモチーフを、壁天井の木調仕上げで表現している。

商業エリア  
日本橋駅 男性トイレ

駅デザインにあわせた木目の壁に、デザインタイルがアクセントになっている内装。ユニバーサルデザイン配慮として、洗面と小便器に1ヶ所ずつ手すりを取り付けている。

商業エリア  
日本橋駅 男性トイレ

駅デザインにあわせた木目調のブース。大便器は壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式を設置。すべてのブースに手すりとスベアが3個セットできる紙巻器、ベビーチェアを設置している。

商業エリア  
日本橋駅 女性トイレ

洗面、スタイリングコーナーともに、隣人の視線が気にならないように個別鏡を採用。荷物配慮として棚やフックなどを要所に設置している。

トレンドエリア  
青山一丁目駅 ホーム

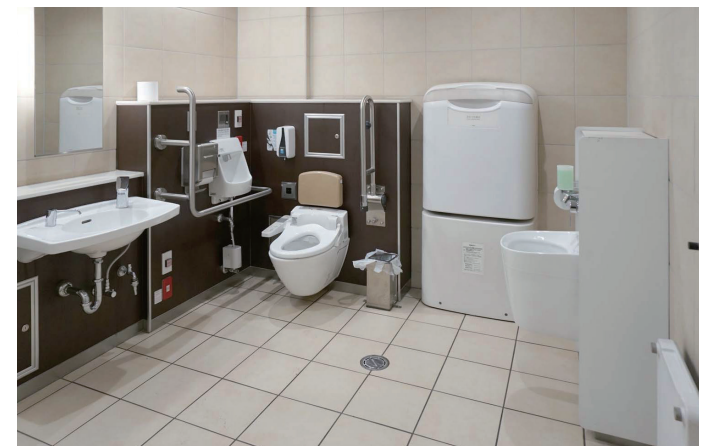
青山一丁目駅のデザインコンセプトは「優雅な街並み」。元大名屋敷であった青山霊園の桜並木と気品ある街並みがモチーフ。床はタイルの組み合わせにより、石畳を表現。天井はさくらの木肌を模した艶がある意匠。

トレンドエリア  
青山一丁目駅  
トイレ入口

奥まった位置にあるトイレでも、大きなイラストと色分けによって、男女トイレと多機能トイレの位置がひと目でわかる。長い通路でも飽きないように、壁にはアクセントの色味を入れている。

トレンドエリア  
青山一丁目駅  
女性トイレ

木目の壁とデザインタイルの組み合わせで、優雅さを感じさせる空間となっている。洗面、スタイリングコーナーともに、隣人の視線が気にならないように個別鏡を採用。

トレンドエリア  
青山一丁目駅  
多機能トイレ

器具の視認性に配慮したコントラストのある配色。ほかの駅同様、車いす使用者やお子様連れ、オストメイトなど、さまざまな利用者に対応できる設備を完備している。



## 東京メトロ 銀座線



### トレンドエリア 渋谷駅 明治通り側改札口

杉板型枠を使用したコンクリート橋脚に、大型内照サインを採用。さらに、改札まわりのゲートに銀座線カラーを採用することで、高架下でも視認性がよく、存在感を創出するデザインになっている。



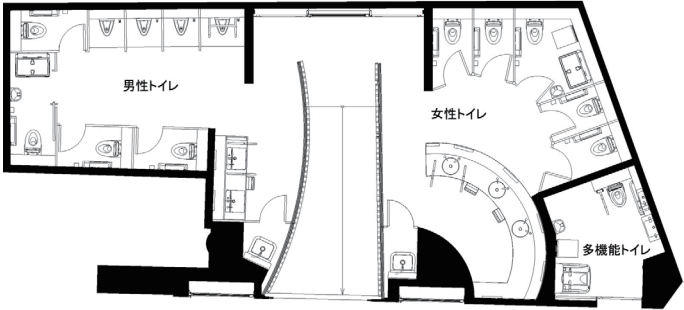
### トレンドエリア 渋谷駅 ホーム

東京メトロのシンボルマークである「ハートM」を彷彿させるアーチフレーム。45本あるフレームはすべて形状が異なり、東口駅前広場から、上空に見える駅舎のボリュームを抑えている。



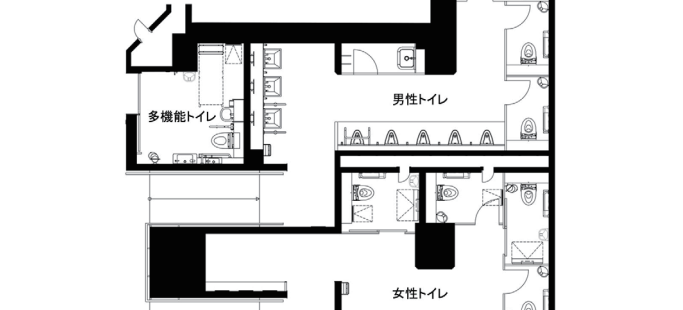
### トレンドエリア 渋谷駅 多機能トイレ

長年、構造上の理由で渋谷駅には設置できなかった多機能トイレを整備。使いやすさと同時に空間としての統一感のあるデザインを実現した、RESTROOM ITEM 01 フラットカウンター多機能トイレパックを採用。



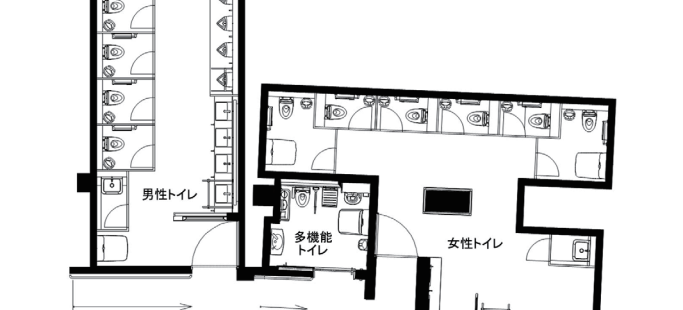
### 銀座駅 トイレ①図面

男女トイレともに、ベビーカーごと入ることができ、ベビーチェアとベビーシートを備えた、ひろびろブースを1ヶ所設置している。



### 銀座駅 トイレ②図面

すべてのブースに手すりとベビーチェアを設置。さらに、ベビーカーごと入ることができ、ベビーシートやフィッティングボードを備えたひろびろブースを設置している。



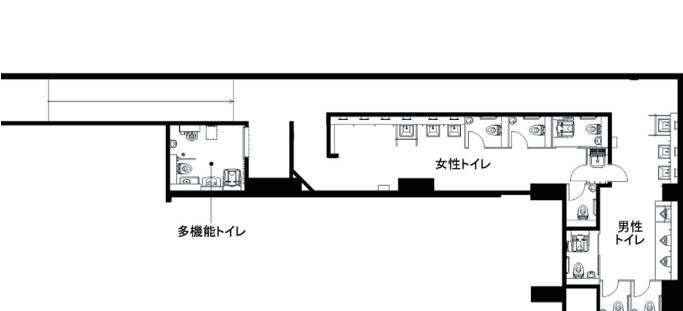
### 上野駅 トイレ図面

すべてのブースに手すりとベビーチェアを設置。女性トイレには、ベビーカーごと入ることができ、ベビーシートも備えたひろびろブースを2ヶ所設置している。



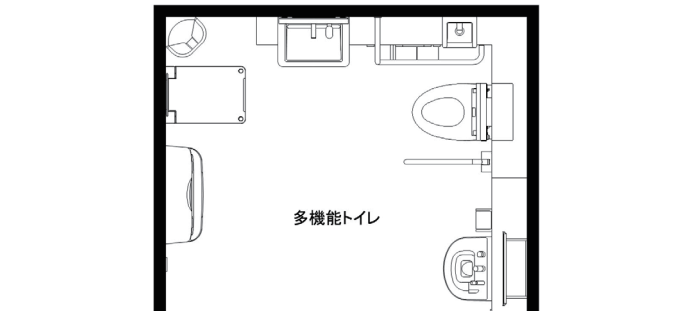
### 日本橋駅 トイレ図面

男女トイレともに、すべてのブースに手すりとベビーチェアを設置している。



### 青山一丁目駅 トイレ図面

すべてのブースに手すりとベビーチェアを設置。さらに、ベビーカーごと入ることができ、ベビーシートも備えたひろびろブースを、各トイレ1ヶ所ずつ設置している。



### 渋谷駅 多機能トイレ図面

新設された多機能トイレ。RESTROOM ITEM 01 フラットカウンター多機能トイレパックを採用。お子様連れに配慮して、ベビーチェア・ベビーシート・フィッティングボードも設置している。

### 水まわりの特長

#### 改修の経緯

東洋初の地下鉄として1927(大正2)年に開通した東京メトロ銀座線は、2017(平成29)年に開業90周年を迎え、全線にまたがってリニューアル工事を推進。「伝統×先端の融合」を路線コンセプトとし、東京の街をつないできた歴史を大切に継承しながら、先端の機能やサービスを取り入れ発信していく。路線各エリアの特長をわかりやすく、下町エリア(浅草駅～神田駅)、商業エリア(三越前駅～京橋駅)、銀座エリア(銀座駅)、ビジネスエリア(新橋駅～赤坂見附駅)、トレンドエリア(青山一丁目駅～渋谷駅)の5つに整理。お客様にも駅づくりに参加いただけるよう、2012(平成24)年から、エリアごとに駅デザインコンペを開催し、各駅の地域性や個性を表現するデザインとなっている。

#### トイレの特長

改修前は和式便器も残っていたが、リニューアル工事後はすべて洋式便器に変更。東京メトロでは、これまで駅トイレには採用していなかったウォシュレットの設置検討にあたり、2016(平成28)年に日比谷線上下野駅で試行設置をし、設置後、TOTOと協業で利用者調査を実施。結果、お客様の満足度が非常に高く、また利用したいという声が多かったことから、2017(平成29)年からの銀座線リニューアル工事を契機に、ウォシュレットが標準仕様となった。さらに、全駅に多機能トイレが設置され、オストメイトやお子様連れなど、多様な利用者に配慮している。内装は、各駅ごとのコンセプトに基づいたデザインとなっており、トイレにおいても、駅ごとに違った個性を楽しむことができる。

#### 建築概要

|      |                                                                                                                                 |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称   | 東京メトロ 銀座線                                                                                                                       |
| 施主   | 東京地下鉄株式会社                                                                                                                       |
| 設計   | 株式会社日建設計(銀座駅)<br>パシフィックコンサルタンツ株式会社(上野駅)<br>株式会社交建設計(日本橋駅)<br>メトロ開発株式会社(青山一丁目駅)<br>メトロ開発株式会社、株式会社内藤廣建築設計事務所、株式会社東急設計コンサルタント(渋谷駅) |
| 施工   | 大成建設株式会社(銀座駅)<br>株式会社大林組(上野駅)<br>株式会社大林組、鹿島建設株式会社(日本橋駅)<br>株式会社安藤・間(青山一丁目駅)<br>東急・清水・鹿島建設共同企業体(渋谷駅)                             |
| 供用開始 | (改修)2020年7月(銀座駅)<br>(改修)2017年12月(上野駅)<br>(改修)2018年12月(日本橋駅)<br>(改修)2020年8月(青山一丁目駅)<br>(改修)2020年1月(渋谷駅)                          |
| 階数   | 地上1階、地下3階(銀座駅、日本橋駅)<br>地上1階、地下2階(上野駅、青山一丁目駅)<br>地上3階、地下2階(渋谷駅)                                                                  |

#### おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式:UAXC1CS2AN

ウォシュレットPS:TCF5503系

ウォシュレットアプリコトP:TCF5840PR

スベア付紙巻器(かぎ付き):YH163 R/L S、YH121MK

マイクロ波センサー壁掛小便器セット:XPU21A

小便器用手すり:T115CU3R

壁掛ハイバック洗面器:LSB135AD

洗面器:L530、L710CM

壁掛洗面器:L270CM

台付自動水栓:TENA12A5、TEXN10A

自動水石けん供給栓:TLK02S01J

クリンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W

フラットカウンター多機能トイレパック:XPDA系

コンパクトオストメイトパック:UAS81R系

ベビーシート:YKA24系／ベビーチェア:YKA15系、YKA16系

フィッティングボード:YKA41系／フック:YKH21WR